

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【111】
2. 日時：令和4年3月9日 10時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、宇田川安全審査官、服部(靖)

安全審査専門職、山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理）他7名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書(三軸粘性ダンパ)について、令和4年3月3日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【主蒸気管の弾性設計用地震動 S_d での耐震評価について】

- 耐震Bクラスの主蒸気管に、耐震Sクラスの許容応力状態である IV_A Sを設定している考え方を説明すること。
- 主蒸気管の支持構造物の許容応力について、耐震クラス、許容応力状態等を明確にした上で、設定の考え方を説明すること。

【配管系に設置する三軸粘性ダンパの概要及び設計方針】

- 三軸粘性ダンパによって配管系に付与される減衰に対応した減衰マトリクス $[C_D]$ について、その設定方法を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし